

とうきょう すくわくプログラム活動報告書

施設名	HOPPA阿佐谷南
法人名	ビーフェア株式会社
法人所在地	千代田区内神田2-15-9 The Kanda282

1. 活動のテーマ

<テーマ>

ことばのおもしろさ

「笑い」を通して、子どもたちの自由な発想と表現力、自主性を伸ばし、コミュニケーション力や仲間と協力してやり遂げる成功体験を育み、自己肯定感を高める。

<テーマの設定理由>

1クラス10名に満たない少人数の中でも、普段は大きな声で話せる子どもが、人前に出ると羞恥心や緊張から声が出なくなる姿が多く見られます。そこで、「間違えてもいいから発言すること」「誰かの発言に耳を傾けること」を安心して経験できる機会をつくりたいと考えました。いただいたパンフレットの中で、子どもたちに最も合うテーマと内容だと判断し、松竹芸能様に来園いただくことを決定しました。

2. 活動スケジュール

全6回のカリキュラムでは、「なりきり自己紹介」「どうも選手権」「数字ボケ・言葉ボケ」「ものボケ・あいさつボケ」などを、講師のお手本を見ながら子どもたち自身も実践しました。月2回程度のペースで来園いただき、実施回の合間は園内で電子黒板を活用し振り返りや練習の時間を設けました。

3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

毎回活動の前に芸人さんの漫才を鑑賞し、楽しさを体で表現したり共有したりすることで、「今日は何をするのだろう、楽しそう」という気持ちを高め、子どもたちがその日の活動に自主的に参加できるよう支援しました。また、「言葉カード」などを用いることで、ボケに対するツッコミが視覚的に分かりやすくなり、理解も早まりました。

4. 探究活動の実践

<活動の内容>

- 1回目：なりきり自己紹介／ジェスチャーゲーム
- 2回目：どうも選手権／数字ボケ
- 3回目：ものボケ／ツッコミ練習
- 4回目：コンビ結成・コンビ名決定／漫才ネタ決め
- 5回目：コンビごとに漫才ネタを練習・披露
- 6回目：年齢別に漫才練習／他クラスを招いて発表会実施

<活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

当初は恥ずかしがる姿も見られましたが、ネタを練習するうちに、これまで自信が持てなかったり人前が苦手だった子どもたちも次第に笑顔が増え、最終の発表会では全員が堂々と生き生き発表できました。コンビ編成やコンビ名は子ども同士で話し合って決定し、保育者は見守りを基本に子どもたちの自主性を尊重しつつ、必要に応じて助言しました。電子黒板に写真や動画を映し出し、子どもたちの活動の様子をわかりやすくお伝えしました。



5. 振り返り

<振り返りによって得た先生の気づき>

これまでも当番活動や誕生会など、歌や楽器演奏を通して人前で発表する機会は意識的に設けてきましたが、今回の笑育では、子ども一人ひとりが毎回大笑いしながら楽しく取り組み、自分の「殻」を破って新しい一面を見せてくれたことに驚きました。友だちと協力し、話し合いながら一つのものを作り上げる喜びや、「阿吽」の呼吸で相手を察してタイミングを合わせるといった貴重な経験も得られました。何より、子どもたちの笑顔が突き抜けており、自信に満ちた表情で全員がやり遂げられたことが本当に素晴らしかったです。